

第1回 教養講座

『郡山の発展を築いた安積疏水』

明治10年、内務卿大久保利通は猪苗代湖の水を郡山へ流す安積疏水事業を提案。奥羽山脈をトンネルで貫き、開拓に必要な水路を築く難工事は、地元や近隣地域の人々をはじめ、遠く九州から技師や職人たちが集まり、さらにはオランダ人技師も力を注いで成し遂げられました。恩恵は農業だけでなく、その後の商工業の発展をもたらしました。小説『侍たちの沃野(よくや)大久保利通最後の夢』(集英社文庫)を執筆した植松氏が明治初頭の「プロジェクトX」ともいえる安積疏水開削について語ります。

講師

うえまつ みどり
作家 植松 三十里氏

日時

令和8年 4月22日(水)
午前11時

会場

郡山女子大学建学記念講堂
大ホール

植松三十里氏プロフィール

Profile

静岡市出身。昭和52年、東京女子大学史学科卒業後、婦人画報社編集局入社。7年間の在米生活、建築事務所勤務などを経て、フリーランスのライターに。平成15年「桑港(サンフランシスコ)にて」で歴史文学賞受賞。平成21年「群青 日本海軍の礎を築いた男」で新田次郎文学賞受賞。同年「彫残(ちようざん)二人」で中山義秀文学賞受賞。

現在、ORBISの化粧品カタログ誌で「時代を生きた女たち」を好評連載中。



聴講のお申し込みはこちらの二次元コードから
または FAX(024-933-8388)でも受付ます

(聴講者の氏名、所属(団体・学校名など)、連絡先電話番号を明記してください)



お申し込み
4/15(水)
まで

※大学には駐車場がございません。周辺の有料駐車場または路線バスをご利用ください。

お問い合わせは

郡山女子大学 入学事務・広報部 TEL.024-932-4848(代)へ